

# iforce

JTEC平成20年度第2回講演会資料

**“21世紀のグローバル社会に求められるICTスキル”**

**インフォメーションタスクフォース株式会社**

代表取締役 竹内 久雄

*<http://www.iforce.ne.jp/>*

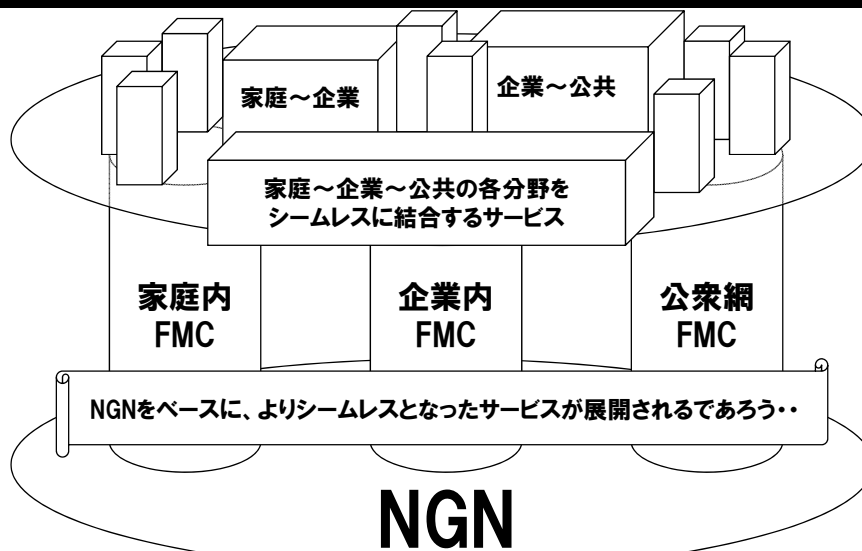
# これからのICT～NGNとFMC～

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

2

## NGNとFMCがもたらす近未来



iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

3

## 具体的なサービス事例

### 家庭内FMCサービス

- ・無線LANゲーム(NINTENDO、SONY、Apple,etc.)
- ・VoWifi
- ・家庭内メディアネットワーク(DLNA)+STB+VOD
- ・IPTV (IP再送信)

### 企業内FMCサービス

VoWifiの企業への  
浸透

SaaSの本格利用

在宅勤務システム  
教育システム

### 公共性の高いFMCサービス

VoWifi・IPTVへの  
緊急放送

在宅医療・保健指導  
(生体センサー)

よりリアルタイム性の  
高い電子政府

シームレスなサービス

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

4

## NGN+FMC時代に必要とされるICT

### 世界No.1の家庭用ゲーム機技術・コンテンツ制作技術

家庭～企業

企業～公共

家庭⇔企

アプリケー

優れたアイデア  
実現するための  
ベンチャー精神と  
インキュベーション

家庭⇔公共

アプリケーション

日本が最も得意としているインフラ技術の分野

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

5

## 組み合わせる力・インテグレーション能力

研究開発の成果を現実のサービスとするための**発想と技術**が必要

新しい  
要素技術

既存  
サービス

既存  
サービス

1. 既存サービス(生きている技術)を中心に新しい要素技術を組み合わせる技術。大胆な発想が必要。
2. 技術中心の利己的なサービスは生き抜けない。いかに新技術でも、市場に合わない部分は大胆に切り捨てる判断力が必要。

マーケットを見極める力が必要

新しい時代を生み出す人材を  
いかに育成するのか

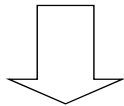
## プログラマからコーディネータ、そしてプロデューサへ...



### プログラマ

- ・ICT基礎技術の習得。
- ・技術動向に対する判断力。
- ・開発プロセスの体験。
- ・要素技術と基盤技術の関係を理解。

エキスパート・プログラマ  
スーパー・デベロッパ



### マネージャ

- ・工程管理技術の習得。
- ・品質管理技術の習得。
- ・PMOの体験。
- ・リスクマネジメント。

プロジェクト・マネージャ  
ソフトウェア開発会社起業

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

8

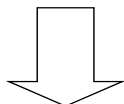
## プログラマからコーディネータ、そしてプロデューサへ...



### ICTコーディネータ

- ・コンサルティング
- ・システムインテグレーション
- ・カスタマーニーズの把握
- ・提案型営業
- ・市場ニーズの把握

SI事業者  
パッケージソフト販売



### プロデューサー

- ・ビジネスマネジメント
- ・ビジネスモデル設計
- ・コラボレーション実現
- ・新ビジネス事業化
- ・ベンチャーインキュベーション

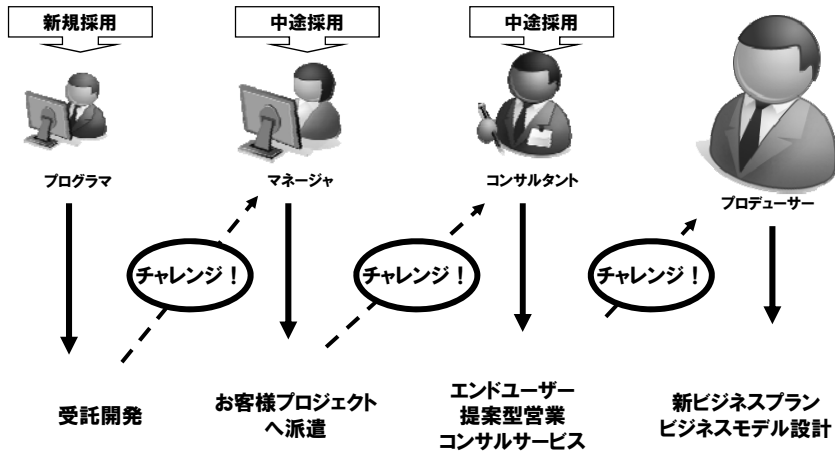
新ビジネス創生  
ベンチャー育成

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

9

## 当社の場合



iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co., Ltd. All rights reserved.

10

## 当社の人材育成のポイント

### 目標と成果を自己管理

- 各ステージにおける個々の目標を明確にして成果を自己評価する
- インセンティブ制を積極的に実施しモチベーションを向上させる

### お互いにパートナーである

- 会社と社員は、パートナーシップで結ばれている
- 会社を辞めてもその関係は持続されるような人間関係を維持
- お互いに切磋琢磨し、お互いが成長できる関係
- 最も信頼できる友人関係

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co., Ltd. All rights reserved.

11

# 海外との連携

## ～遠隔医療システムの海外への普及取組～

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

12

### 循環器・脳神経外科の遠隔読影診断

疾病による死亡原因（世界統計）  
**第1位 循環器系の疾患（心臓・肺・脳神経）**  
**第2位 悪性新生物**

（「世界脳卒中デー宣言」より抜粋 財）日本脳卒中協会）

世界的には、脳卒中によって年間570万人が死亡し、心臓病に次いで、死因の第2位です。また、重大な身体的な障害の第一の原因です。脳卒中にならない年齢、性、人種、国はありません。

脳卒中5件あたり4件は、低所得～中所得の国で生じています。それらの国では、脳卒中の後遺症に対して、最低限のことしかできません。

もし何も対処しなければ、脳卒中による死亡は毎年増え、2015年には670万人に達します。

既知の予防方法を講じれば、今後10年間に600万件の脳卒中死を回避することができます…

（※1出典）UN, Demographic Yearbook System, Demographic Yearbook 2004

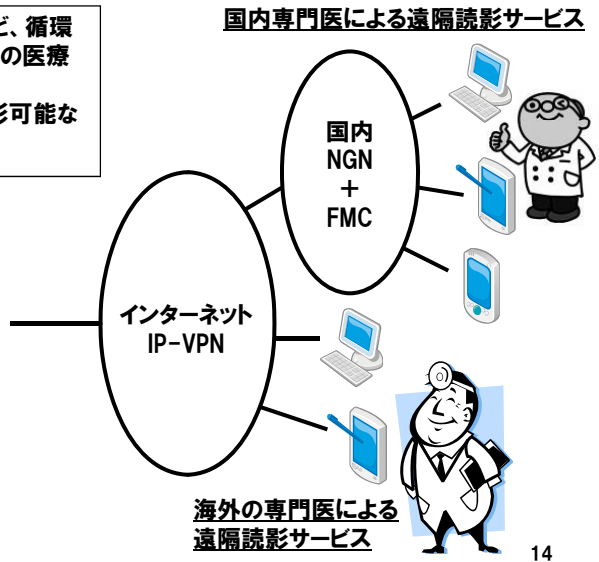
iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

13

## 開発途上国への医療機器援助と遠隔読影サービス(案)

- ・ 開発途上国へのCT/MRIなど、循環器系疾患、脳神経疾患向けの医療検査機器を援助。
- ・ しかし、現場には技師や読影可能な専門医が不足している。



iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co., Ltd. All rights reserved.

## 緊急時医用画像転送システム・モバイルミマス 発売開始

# MobileMIMAS

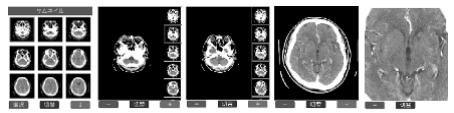
**KDDI**  
KDDI R&D LABS

脳神経疾患、循環器系疾患に対する緊急時対応のために、CT/MRIで取得した医用画像を専門医が保有する携帯電話に高速転送するシステムです。



MobileMIMAS  
DICOM・JPEG画像を高品位JPEG2000へ  
高速画像変換

内視鏡	X線	心電図	超音波
アンギオ	CT画像	MR I	各種検査機器



現在、国内医療機関に営業展開を開始。  
来年度は中国をはじめ海外への展開を計画中。

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co., Ltd. All rights reserved.



## 海外展開へのチャレンジ

### ①発展途上国への医療技術の遠隔支援

- MobileMIMASをベースに独自ASPの開発を計画中。
- 国内・海外医療機関に対するASPの低価格、または無料貸出を基本としたビジネスモデルを模索中。
- 日本から発展途上国への医療支援のひとつのあり方として提言。

### ②国内専門医不足の解消

- 特に脳神経外科専門医の不足傾向が顕著。
- 海外との医療ネットワークを構築する事で、専門医の不足する地域総合病院への対策。

### ③現地エンジニアの育成

- ASPを展開するパートナー企業、個人コンサルタントネットワークを構築。
- 現地パートナーを経由して、現場ニーズを収集。次期システムへフィードバック。

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

16

ご清聴ありがとうございました。

## インフォメーションタスクフォース株式会社

- ICTコンサルティングサービス
- ICTエンジニアリング・技術者派遣
- ICT関連プロダクト販売
- コールセンター・ヘルプデスク受託事業

<http://www.iforce.ne.jp/>

本社：東京都中央区銀座2-13-19 6階  
電話 03-3542-8880 FAX 03-3542-8887

iforce

Copyright © 2008 Information Task Force Co.,Ltd. All rights reserved.

17